

FinOpsとは、運用フレームワークおよび組織文化的なプラクティスであり、**クラウドとテクノロジーのビジネス価値の最大化**、データに基づいたタイムリーな意思決定、エンジニアリング、財務、ビジネスチーム間のコラボレーションを通じて財務上の説明責任を生み出すためのものである。

原則

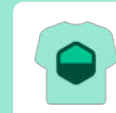
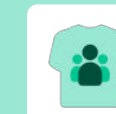
-  チームはお互いに協力する必要がある
-  ビジネス価値に基づいて、テクノロジーに関する意思決定を行う
-  すべての人が自分のテクノロジー利用に当事者意識を持つ
-  FinOpsデータはアクセスしやすくタイムリーで正確であるべき
-  組織横断の専門チームが中心となりFinOpsを推進するべき
-  クラウドの変動費モデルを活用する



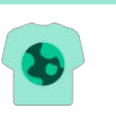
スコープは、実践者がFinOpsフレームワークを適用するためのコンテキストを提供する。

-  パブリッククラウド
-  SaaS
-  データセンター
-  ライセンス
-  AI
-  カスタムスコープ

コアペルソナは、FinOpsの実践に常に関与する。

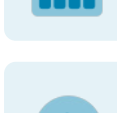
-  エンジニアリング
-  FinOps実践者
-  財務
-  リーダーシップ
-  調達
-  プロダクト

関連ペルソナは、FinOpsの実践をサポートする。

-  ITFM
-  ITAM
-  ITSM
-  セキュリティ
-  サステナビリティ

ドメイン はFinOpsの実践で得られる成果をあらわしたものであり、**ケイパビリティ** はその成果を達成する方法を示したものである。

使用量とコストの理解

-  データ取り込み
-  配賦
-  レポートと分析
-  異常管理

ビジネス価値の定量化

-  計画と見積もり
-  予測
-  予算編成
-  ベンチマーキング
-  ユニットエコノミクス

使用量とコストの最適化

-  クラウドに適したアーキテクチャ設計
-  サステナビリティ
-  ライセンスとSaaS
-  料金の最適化
-  ワークロードの最適化

FinOpsプラクティスの管理

-  FinOpsプラクティスの運用
-  ポリシーとガバナンス
-  FinOpsアセスメント
-  FinOpsツールとサービス
-  FinOpsの教育と普及促進
-  請求とチャージバック
-  ワークロードのオンボーディング
-  専門分野間の連携